

プレミアム付き大田原
市子育て支援券について



櫻井 潤一郎 議員

質問…プレミアム付き大田原市子育て支援券の販売実績・効果及び今後の施策について

答弁…見込みより早い9月末までに7万冊が完売し、販売金額

は7億円。換金実績は、平成28年2月末で7億6627万1000円となり、プレミアム分を含む換金原資7億7000万円に対する換金率は99.5%で、基金に1514万6300円の

積立ができました。購入者の利便性向上のために取扱店の拡大も推進しており、平成27年4月以降に新たに48店舗が追加されました。

プレミアム付き大田原市子育て支援券の影響で既存の子育て支援券についても、平成26年度末と比較すると平成28年2月末現在での未換金の金額は、117万円減少し、周知と利用促進

が図られました。既存の子育て支援券制度も市内の消費喚起が目的の一つでもあるので、今後とも一層制度の周知と利用促進を図りながら、今後も国の交付金等財源が確保できれば、それを使ってプレミアム付き商品券やふるさと名物商品券等の発行を通して、地域経済の活性化に取り組んでいきます。

一般質問



秋山 幸子 議員

文化芸術振興基本法に基づく、
大田原市文化芸術振興基本
計画の策定について

質問…大田原市の文化芸術振興基本計画の策定をするときは、市内の学識関係者や市民による策定検討委員会などで検討することを求めたいと思いますが、市長の考えを伺います。

答弁…全くその趣旨につきましても、私も同感であります。これから育つ、特に21世紀中盤から後半に生き続けていく人として最も大事なものは、やはりヒュー

マニズム、人を愛する心、人間

が人間らしい生活ができる、そういう日本を、また大田原市を、世界をとというふうに広げていくことが大切だろうという感じがしております。もつと質の高いものをというときには、大田原市民が一丸となって、積極的にこのような事業に関われるような、行政の受け皿というものもこれからつくっていく必要

があるだろうと感じています。

その中で今後策定する総合計画の中にも文化芸術の振興ももうたっており、一体的な施策の中で、特に文化芸術はこれから必要とされているという内容等も加えさせて、良い施策をつくりあげていきたいと思っています。